

船舶事故調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委 員 横 山 鐵 男（部会長）
委 員 山 本 哲 也
委 員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年6月14日 11時40分ごろ船長が発見された。）
発生場所	不明（長崎県西 ^{さいかい} 海市平島漁港内 平島灯台から真方位093° 1,500m付近（概位 北緯32° 59.9′ 東経129° 14.4′）で船長が発見された。）
事故調査の経過	平成21年6月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等
乗組員等に関する情報	漁船 ^{まつしま} 松島丸、0.7トン NS3-404003（漁船登録番号）、個人所有 5.53m(Lr)×1.74m×0.75m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数19、平成10年3月30日
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	船長は、平成21年6月14日朝、船外機の部品交換を行うとって自宅を出た。本船は、平島漁港内のふだんの係留場所から同港南東部の入江に移されて、係留されていた。 11時40分ごろ、通行人が海面にうつ伏せで浮いている船長を発見した。船長は病院に搬送されたが、死亡が確認された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 3 海象：平穏
その他の事項	本船は、事故当時、平島漁港南東部の入江に係留されており、係留されていた場所は、人が立ち上がることのできる水深であった。 船長は、腰痛の他は体調に異常はなかった。 船長は、若い頃に潜水漁に従事していたことから、泳ぐことはできた。 船長は、救命胴衣を着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、平島漁港南東部の入江において係留中、船長が、救命胴衣を着用せずに本船から落水した可能性があると考えられるが、落水に至るまでの状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、平島漁港南東部の入江において係留中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	